

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【公開番号】特開2006-336021(P2006-336021A)

【公開日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【年通号数】公開・登録公報2006-049

【出願番号】特願2006-222576(P2006-222576)

【国際特許分類】

C 0 8 F	2/18	(2006.01)
C 0 4 B	38/06	(2006.01)
B 0 1 J	13/14	(2006.01)
B 0 1 D	39/00	(2006.01)
B 0 1 D	39/20	(2006.01)

【F I】

C 0 8 F	2/18	
C 0 4 B	38/06	D
C 0 4 B	38/06	E
C 0 4 B	38/06	G
B 0 1 J	13/02	B
B 0 1 D	39/00	B
B 0 1 D	39/20	D

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

多官能モノマーを含む重合用モノマー成分100重量部を重合用モノマーとは反応しない有機溶剤1～400重量部と混合した重合用モノマー溶液を、分散安定剤を含む極性溶媒に懸濁せしめた後、重合用モノマー成分を重合させて、有機溶剤を内包するポリマー粒子を得て、得られたポリマー粒子中の有機溶剤を除去する多孔質中空ポリマー粒子の製造方法であって、混合される重合用モノマー成分と有機溶剤の溶解度パラメータ(S P値)の差が1.0 MPa<sup>0.5</sup>未満の時は、重合用モノマー成分に占める多官能モノマーの割合が少なくとも5重量%以上であり、1.0以上1.5 MPa<sup>0.5</sup>未満の時は、重合用モノマー成分に占める多官能モノマーの割合が少なくとも20重量%以上であることを特徴とする多孔質中空ポリマー粒子の製造方法。

【請求項2】

分散安定剤が部分ケン化ポリ酢酸ビニル、セルロース誘導体、ポリビニルピロリドンの少なくとも一つである請求項1に記載の多孔質中空ポリマー粒子の製造方法。